

2012年4月開設予定

2011年5月末日届出設置書類文部科学省提出中

(内容はすべて予定です。変更があり得ますのでご了承ください。)

Graduate School of Humanities and Sciences Master's Degree Course

東京女子大学大学院 人間科学研究科 博士前期課程

Division of Humanities and Cultures

人間文化科学専攻

Division of Human and Social Sciences

人間社会科学専攻



東京女子大学大学院

〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1

問い合わせ 入学課 大学院入試係 TEL 03-5382-6592

URL <http://www.twcu.ac.jp/>

e-mail admission@office.twcu.ac.jp

人間文化科学専攻

◆人間文化科学専攻の目的

伝統的な人文科学を現代的な課題と結合するため、長い伝統をもち発展してきた文学研究科の哲学、日本文学、英米文学、史学の4専攻に現代文化研究科の日本語教育分野を加えそれぞれの方法論を文化研究に接合してゆくことを重視して、人間科学研究科人間文化科学専攻博士前期課程を設置する。

5つの研究分野で構成され、人間の文化を時代的・空間的な広がりをもって探究する上で不可欠な「ことば」の研究を共有し、文化の史的・地域的・階層的差異を考究し、その成果を社会的に活用することを目的としている。

◆養成する人材

中学校・高等学校教員、学芸員、日本語教師ほか、著述家、翻訳者、編集者、言語コーディネータなどの高度専門職業人の養成とともに、研究者をめざす学生の研究能力を育成する。

◆研究分野の特色及び専任教員 < () 内は専門領域 >

「哲学・思想文化」分野 哲学を中心に広く、科学や倫理、芸術、宗教等、人間文化を構成する諸要素の全体を対象とし、その基礎的な研究を目指す。	「日本文学文化」分野 「日本語」という「ことば」の歴史、過去から現在に至る「日本文学」、日本の文化や思想に多大な影響を与えた「漢文学」に着目しつつ、古代から現代に至る「日本」という国の文化や思想について多角的に考究する。	「英語文学文化」分野 英語を媒体として織りなされる言葉と文化の諸形態を英米文学及び英語学を中心に考究する。
黒崎政男（近世哲学、科学哲学） 森一郎（現代哲学） 佐々木能章（近世哲学、倫理学） 久保光志（美学、芸術学） 守屋彰夫（聖書学）	金子彰（日本語学<日本語史>） 鉄野昌弘（上代文学 特に萬葉集） 今井久代（平安時代の文学、特に源氏物語） 矢野公和（江戸時代の文学） 大久保喬樹（近・現代文学、比較文学） 近藤裕子（近・現代文学、臨床文学） 安藤信廣（中国古典文学、特に中国中世文学及び日本漢文学）	原英一（英文学<小説・文化>） 原田範行（英文学<小説・詩・文化>） Ewick, David（Cultural Studies; Modernist Studies） Kleitz, Dorsey（米文学<小説・詩>） 篠目清美（米文学<小説>） 本合陽（米文学<小説>） 小野祥子（英語学<英語史>） 野村恵造（英語学<語用論、社会言語学>）
「歴史文化」分野 日本やアジア、ヨーロッパなどの諸地域・諸時代を対象とし、政治、経済、社会、文化の在り方について、歴史的な視角から理論的かつ実証的に検証することにより、その全体像を再構成し、同時に各部分の特徴を把握する。		「現代日本語・日本語教育」分野 「現代の日本語」について、その仕組みや特性、社会における多様性を探求し、実践の場としての日本語教育への応用を目指す。
勝浦令子（日本古代史） 高田陽介（日本中世史） 黒沢文貴（日本政治外交史） 茂木敏夫（中国思想史） 栗原純（中国近現代史） 樋脇博敏（西洋古代史） 坂下史（イギリス近世史） 芝健介（ドイツ近現代史）		石井恵理子（日本語教育） 熊谷智子（社会言語学、談話分析） 篠崎晃一（日本語学） 丸山直子（日本語学<現代語>、日本語情報処理） 松尾慎（社会言語学・日本語教育・多元文化教育）
共通基礎科目 田中美保子（翻訳研究、英米児童文学）		

◆修了要件

2年以上在学し、専攻共通基礎科目4単位以上、入学時に選択した研究分野の科目12単位以上、論文指導演習2単位を含む計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

◆授与する学位

修士（人間文化科学）

人間社会科学専攻

◆人間社会科学専攻の目的

国内外の現代的課題に対して実践的、学際的に研究するため、長い伝統をもち発展してきた文学研究科の心理学専攻、社会学専攻及び現代文化研究科のコミュニケーション研究、地域文化研究を統合して、人間科学研究科人間社会科学専攻博士前期課程を設置する。

3つの研究分野で構成され、現代社会の人間が直面しているさまざまな問題を人間科学・社会科学の視点、知識、方法論をもって調査研究し、実証的・科学的な研究を行うことを目的としている。

◆養成する人材

臨床心理士、中学校・高等学校教員、国・地方公共団体職員ほか、情報メディア・情報通信分野の専門家、社会調査の専門家、地域コミュニティ・企業・NPO/NGO・国際機関の職員など高度専門職業人の養成とともに、研究者をめざす学生の研究能力を育成する。

◆研究分野の特色及び専任教員 < () 内は専門領域 >

「臨床心理学」分野	「心理・コミュニケーション科学」分野	「グローバル共生社会」分野
現代社会の人々が抱えるさまざまな行動的・心理的な問題について心理療法の対話から社会システムまで視野に入れた心理臨床実践のアプローチを身につけることを目指す。	一般的な人間の行動・心理のメカニズムの研究から、マスメディア・マスコミュニケーションや情報通信において生じているさまざまな人間のコミュニケーションの営みを対象とした研究を行う。	グローバル化する社会の中で、国家・民族・階級・ジェンダーなどのさまざまな境界を越えて人々が平和に共生できる社会を国際関係論、経済学、社会学、ジェンダー研究を融合させた学際的アプローチにより研究を行う。
柴山雅俊(精神医学) 高島克子(臨床心理学・コミュニティ心理学) 近田輝行(臨床心理学) 前川あさ美(臨床心理学) 無藤清子(臨床心理学・家族心理学)	有馬明恵(コミュニケーション学) 李津娥(コミュニケーション学) 小田浩一(感覚・知覚・認知) 唐澤真弓(文化心理学) 工藤恵理子(社会心理学) 斉藤慎一(コミュニケーション学) 平林秀美(発達心理学) 渡辺隆行(情報アクセシビリティ)	赤堀三郎(社会学理論、社会学史) 伊奈正人(知識社会学) 岡村清子(福祉社会学<生活保障論>) 兼若逸之(朝鮮文化研究) 栗田啓子(政策形成と経済思想<人口問題と住宅政策>) 黒川修司(国際政治学) 国広陽子(女性学・ジェンダー論) 小檜山ルイ(アメリカ研究) 金野美奈子(家族と仕事の社会学、社会学理論) 宍戸恒信(マクロ経済学、国際経済学、開発経済学) 白砂堤津耶(計量経済学) 染谷倭子(老年社会学) 滝口太郎(アジア国際関係論) 竹内健蔵(公共政策論) 竹内久頭(平和教育学) 中村真人(産業社会学) 轟莉莉(文化人類学) 二村真理子(環境経済論) 古沢希代子(国際開発協力論) 湯浅成大(アメリカ政治外交史) 油井大三郎(日米比較文化)

◆修了要件

2年以上在学し、専攻共通基礎科目4単位以上、入学時に選択した研究分野の科目12単位以上、論文指導演習2単位を含む計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

◆授与する学位

修士(人間社会科学)

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

人間科学研究科

人間科学研究科は、人文・社会科学の諸分野において学際的視点から研究を深め、専攻分野での自立的な研究能力を高めることにより、共生社会の実現に指導的役割を担うことができる研究者及び高度な専門的職業人の育成を目的として、人間文化科学専攻と人間社会科学専攻を博士前期課程として設置しています。そのため以下のような学生を積極的に受け入れます。

人間文化科学専攻

人間の営みと知の所産である文化の諸相を解明するための専門的知識を修得し、その知識を自立的に運用するために必要となる各種の資料についての読解精査力と問題分析力を身につけ、その分析の成果を国内外に発信する意欲ある学生を求めています（対象とする時代・地域・言語について基礎的な知識を修得していることが望まれます）。

人間社会科学専攻

現代社会の人間が直面しているさまざまな問題に、人間科学や社会科学の視点、知識、方法論をもって調査研究し、事実をもとに科学的に解決策を提案し、成果を国内外に発信する意欲ある学生を求めています（対象とする分野や方法について基礎的な知識を修得していることが望まれます）。

人間科学研究科博士後期課程との関係

博士前期課程

人間文化科学専攻 <ul style="list-style-type: none">● 哲学・思想文化● 日本文学文化● 英語文学文化● 歴史文化● 現代日本語・日本語教育 人間社会科学専攻 <ul style="list-style-type: none">● 臨床心理学● 心理・コミュニケーション科学● グローバル共生社会



博士後期課程

人間文化科学専攻 <ul style="list-style-type: none">● 思想文化● 言語表現文化● 歴史文化 生涯人間科学専攻 <ul style="list-style-type: none">● 生涯発達臨床● 認知社会適応● 共生社会開発

入学試験の概要

入学試験の詳細は2011年7月下旬発行の入試要項による。

● 選抜方法（一般入学試験、社会人対象入学試験、外国人留学生入学試験）

選抜は、学力試験（筆答試験・口述試験）の結果および出願書類を総合的に審査して行う。

筆答試験：専門分野の学力及び修士論文作成の基礎学力を確認する。

口述試験：研究意欲および研究を進めていく適性を多面的に評価する。